



ほほえみの国から

Thai Mission News Letter No.15 • December 2022



■家族構成

河野晃(アキラ)

美千代(ミチヨ)

愛友(マト, 10歳)

愛絆(アキ, 8歳)

愛恵(アヒ, 5歳)

(写真)市原平安教会での宣教報告の後に皆さんと(2022年11月)

「見よ、処女が身ごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。それは、訳すと「神が私たちとともにおられる」という意味である。」

マタイ1:23

インマヌエルなる主イエスさまを覚えながら

暗闇の世の照らす光となって来られた私たちの救い主イエス・キリストのすばらしい御名を心から賛美いたします。

今年6月に家族を伴って一時帰国をさせていただき、現在も首と腰のヘルニアの治療とリハビリを行っています。諸教会の皆様のとりのしのお祈りを心から感謝いたします。先日、Bangkok Grace Church から恵みのニュースが送られてきました。11月17日に教会で運動会が開催され、多くの子どもたちがみことばを聞き、そしてスポーツを楽しみながら恵みの一日を過ごすことができたとのことでした。私たち家族はその場にいる

ことはできませんが、私たちの救い主イエスさまご自身がタイの子どもたちとともにおられ、そしてそのイエスさまによって立てられた現地の兄弟姉妹たちが熱心に仕えている姿に大いに励まされています。日本においてもタイにおいてもインマヌエルであられる主をあがめます。



運動会に集った子どもたち

宣教報告のお願い

一時帰国中に宣教報告を行わせていただいています。今も治療とリハビリを行っているため基本的にはオンラインでの奉仕をお願いしていますが、滞在中の千葉県東金市から通うことができる距離であれば訪問しての奉仕も行っています。主日礼拝もしくは平日の祈禱会にて宣教報告のご希望がありましたらぜひ下のメールアドレスにご連絡をお願いします。連絡先(河野晃のメール): akirawwj@ yahoo.co.jp



家族での宣教報告の様子

日本での歩みも主とともに



近くの山で遊ぶ子どもたち



オンラインで DS-Kids に参加

6年ぶりに日本で冬の季節を過ごすことになりました。タイの高温多湿の気候に慣れてしまったせいか11月ですでに凍えるような寒さを感じています。そのような中、ある教会のご家族が子どもたちのために冬服を貸してくださいました。また、11月3日にはオンラインで開催された DS-Kids の集会に自宅から参加。日本語で聞くみことばのメッセージと楽しいプログラムに子どもたち三人ともとても喜んでいました。日本の気候や学校生活など慣れない環境での歩みの中にも、主の恵みが絶えることなく注がれていることを覚えます。主に感謝しつつ、なお祈りをもって主とともに歩いてまいります。

■ 献金の御礼とお願い

皆様のお祈りとご支援によりタイ宣教が守られています。心より感謝申し上げます。引き続きお祈りとご支援をお願いいたします。

宣教献金振込先: 郵便振替
00120-5-142886

口座名義: 日本同盟基督教団

【お願い】振り込みの際に「河野晃宣教師への指定献金」とご明記ください。